

**重要** 公募共同研究の参加者は必ずお読み下さい。

## 平成29年度東北大学流体科学研究所一般公募共同研究のしおり

東北大学流体科学研究所「一般公募共同研究」における諸手続について、下記により遺漏のないようよろしくお取り計らい願います。

### 1 採択結果通知

採択結果は、「申請者（研究代表者）」、「所内対応教員」、「所外対応研究者」に対してのみ、電子メールで通知いたします。共同研究者、所属機関の長及び関係者へのご連絡等は、申請者（研究代表者）から行なって下さい。

### 2 東北大学流体科学研究所共同研究員の委嘱

採択された場合、所外の参加者（以下「所外研究者」という。）は、全員「東北大学流体科学研究所共同研究員」として委嘱いたします。これにより、共同研究遂行上必要な場合は、所内の施設・設備等を所員に準じて利用することができます。委嘱期間は公募共同研究の実施期間内となり、その間、流体科学研究所の諸規則を所員に準じて遵守していただきます。

### 3 研究経費等

公募共同研究に必要な旅費、消耗品等の経費は、採択金額の範囲で本研究所が措置します。経費を使用する場合の手続きは、次のとおりお願いします。

なお、経費を使用する場合は、東北大学会計規程等の学内規則に基づいて執行されることとなります。

#### (1) 旅費

##### 1) 旅費について

旅費は、仙台市内在住（職）以外の所外研究者が本研究所に来所して共同研究を行なうための旅費としてのみ、支給されます。

旅費の使用は、所内対応教員を通して行なって下さい。

研究課題ごとの旅費配分額については、所内対応教員を通じて総務係（共同研究担当）にお問い合わせ下さい。

なお、旅費の使用に当たっては、申請内容に従い予算の範囲内で計画して下さい。

また、本研究所への出張に際して、原則、所外研究者及び所属長に対する文書での「出張依頼」は行ないませんが、事務手続き上、必要とする場合は、事前に総務係（共同研究担当）へご連絡下さい。

##### 2) 旅費の請求手続きについて

・所内対応教員は、所外研究者が来所する際に、当該旅行に係る「旅行計画書」及び「旅

行報告書・旅費精算書」をご準備下さい。なお、所外研究者に押印いただく前に、記載内容について総務係（共同研究担当）の確認を受けて下さい。

・「振込依頼書」は、振込先金融機関の確認に必要ですので、所外研究者で初めての方及び振込先に変更があった場合に、その都度、総務係（共同研究担当）へ提出して下さい。

### 3) 旅費の計算

旅費は東北大学旅費規程に基づき、予算の範囲内で支給します。

### 4) 旅費の支給

旅費は、原則として精算払い（旅行した事実を確認した後の支払い）で、「旅行報告書・旅費精算書」が提出された日から3～4週間後に、来所者本人の指定口座に振り込まれます。

### 5) 航空機の利用について

航空機を利用した場合は、「航空運賃の支払いを証明する書類」の添付が必要ですので、以下の書類を提出下さい。

なお、割安航空券（パック旅行を含む。）を利用することは差し支えありません。

#### 【航空賃のみの場合】

- ① 領収書：搭乗者の氏名、金額、搭乗月日、搭乗便名が記載されたもの
- ② 搭乗券の半券（往復分）

#### 【パック旅行の場合】

- ③ 上記①、②の他に、宿泊日、食事の有無が記載された明細書等

### 6) 海外からの所外研究者について

海外から来られる所外研究者は、原則的に概算払い（旅行が終了する前の支払い）になります。旅行計画書と航空券等の領収書の写しを遅くとも3週間前までに総務係へ提出してください。（上記領収書の原本及び搭乗券の半券は、来所時に提出してください。）

#### (2) 消耗品等経費

共同研究を実施するにあたり必要となる消耗品等については、所内対応教員を通じて購入して下さい。

研究課題ごとの消耗品等経費配分額については、所内対応教員を通じて総務係（共同研究担当）にお問い合わせ下さい。

なお、購入した消耗品等の物品は原則、研究実施場所である流体科学研究所内で使用していただくこととなります。

## 4 共同研究成果報告書の提出等について

### (1) 共同研究成果報告書の提出

研究代表者は、本年度の研究終了後、共同研究成果報告書の様式をウェブサイトよりダウンロードして作成し、公募共同研究申請サイトから、平成30年4月30日までに

提出して下さい。その際、代表的な論文等の別刷り 1 件も PDF ファイルの形式で、提出して下さい。

## (2) 研究成果の発表と謝辞の記載

共同研究の成果は共著論文として発表して下さい。論文には、「東北大学流体科学研究所における公募共同研究による」旨の文章を謝辞に記載して下さい。

なお、英文の場合には以下の文例を参考にして下さい。

Part of the work was carried out under the Collaborative Research Project of the Institute of Fluid Science, Tohoku University.

This conference was partially supported by the Collaborative Research Project of the Institute of Fluid Science, Tohoku University.

## 5 研究成果報告会

平成 29 年 11 月に仙台で開催予定の共同研究成果報告会（国際シンポジウム（11 月 1 日～11 月 3 日）と併催）において発表を行っていただきます。詳細については、後日、お知らせいたします。

## 6 宿泊施設

本研究所には宿泊施設はありませんが、情報提供等のお手伝いを致しますので、ご要望がありましたら総務係（共同研究担当）までご連絡下さい。

連絡先：東北大学流体科学研究所 総務係（共同研究担当）

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2 丁目 1-1

TEL: 022-217-5302 FAX: 022-217-5311

E-mail: shomu\_kb@fmail.ifs.tohoku.ac.jp

以上